若久緑園季刊紙　グリーンピース　第３３号

巻頭コラム「CHILD FIRST」

GREEN PEACE

3 spring

FREE

2017
Vol. 33

社会福祉法人共栄福祉会　若久緑園
〒815－0042　福岡市南区若久2丁目3番51号
TEL　(092)551-4011
FAX　(092)551-4012

INDEX

P1　「Child First」　園長　中村　隆
P2-3　各寮より
P4-5　サッカー、エイサー
P6-7　クリスマス会、スマイルスマイル、研修など
P8　みどり、ガーデン、お知らせなど

HPはコチラ

Child First（チャイルドファースト）

～若久緑園の子どもたちから感じること～

若久緑園　園長
中村隆

若久緑園で暮らす子どもたちを見ていると、平成15年以降の障がい福祉サービスの多機能化、地域支援の充実もあり、いわゆる重度の障がいのある子どもたちの入所ニーズが減少している印象があります。私自身もヘルパーとして居宅介護・行動援護等の支援に入り、地域の暮らしを支えるしくみになってきた事例を多くみてきました。その背景もあり、福祉型障がい児入所施設のニーズは大きく変わってきたように思います。

一方で、愛着形成に課題を持つ子どもたちが増えてきており、社会的養護の観点から福祉型障がい児入所施設を見るべきであるという気持ちが大きくなってきました。その現場で働く保育士、児童指導員等はこの支援業務の中で、どれだけ支援上の苦労を分かち合い、共感し、感動をともに共有できているのか園長としてできることはないか自問自答していました。もちろん施設内での情報共有も大切ですが、多くのネットワークの中で支援の共有化を図っていくことが大切な現場とも言えます。

また、社会的養護の施策として、児童養護施設は小規模ユニット化、定員減を大きく打ち出し、また里親制度やファミリーホームといった流れもあり大きく変わってきていますが、福祉型障がい児施設の現状は取り残された感が否めません。そのような中で若久緑園の取り組みとして、1月下旬西南学院大学教授の安部計彦教授の協力を得て、研修会を当園主催で行いました。テーマは「発達障がいのある児童の支援について～集団生活の中での課題～」。思った以上の反響で、児童相談所、児童養護施設、自立援助ホーム、相談支援、発達障がい者支援センター等の関係者が集いました。内容は若久緑園児童の事例検討を中心に行いましたが、このネットワークを大切にしたいとの気持ちがなお一層強くなりました。同じ課題を持つ施設である「福祉型障がい児施設」は、児童福祉法と障がい者総合支援法の狭間で制度的な積み上げが見えない現状の中でもがいているように感じます。

今、できることは社会の中で前述の研修会等の小さな取り組みを一つひとつ積み重ねていきながら、同じ社会的養護の課題を共有できる仲間を増やしていくことかと思います。それは子どもたちの支援に反映していくし、社会を変えていく力にもなる。また職員のメンタルヘルスに繋がるものだと感じています。

「Child First（チャイルドファースト）」、障がい児のまえに、まず子どもなんだということを再確認して、子ど

あおば
青葉寮

　青葉寮の子ども達は今日も元気に過ごしています。職員も子ども達に負けじと、元気いっぱいに支援しています。年末年始はクリスマス会やお年玉と、子どもたちにとって楽しい事づくめの日々でした。今年も昨年に負けじと、元気いっぱいな毎日を過ごして参りますので、今後とも青葉寮を宜しくお願い致します!!

　3月、若葉寮では中学3年生2名と小学6年生3名が卒業を迎えます。
　今年度も子ども達は、1年間でたくさんの成長する姿を見せてくれました。来年度は、またどんな成長を見せてくれるのか楽しみです。
　1年間、子ども達へのご支援、ご協力ありがとうございました。また、来年度もよろしくお願い致します。

照葉寮

どんど焼きに行ってきました。

平成29年1月今年も年始に毎年恒例のどんど焼きへ行ってきました。

どんど焼きとは、子正月の行事で、松飾りや書き初めなどを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという火祭り行事です。今年も地域の年中行事の一貫として、照葉寮数名が参加しました。

当日は、とても寒い中での参加となりましたが、果たして今年はどんな一年になるのでしょうか。

本年も照葉寮をどうぞよろしくお願い致します。

フタバ

双葉寮

女の子が多い双葉寮は、平成２８年度も明るく元気に仲良く、１年間を楽しみながら過ごす事ができました！
バーベキュー、ソフトバレー、夏祭り、能古島での海水浴、かしいかえん、川遊び、双葉大運動会、ハロウィン、クリスマス、年越し、お正月、節分、個別の希望に沿った担当外出、そして園内でのシャボン玉や鬼ごっこ・・・どれもステキな想い出です！

名将 肘井監督 若久FC最強伝説へ…

堅守速攻〈カテナチオ〉 3大会連続無失点

サッカー県大会3連覇達成!!

【控え】
HIGUCHI
HIRANO
SAKAI
KAWACHI
MARUYAMA

【監督】
肘井

【コーチ】
永田

【優勝監督談話】

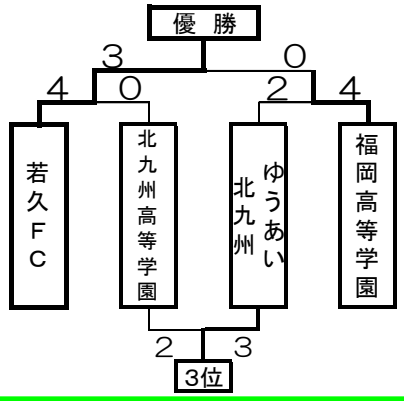
昨年とはメンバーが大幅に変更になり、選手もスタッフも期待と不安が入り混じった状態で当日を迎えました。

１試合目の北九州高等学園戦は動きが固く、初めは相手に攻め込まれる場面が多かったです。しかし、直接フリーキックから先制点を取ったのをきっかけに、試合の流れがこちらに傾き、終ってみれば、４対０で勝利することができました。

決勝戦の相手である福岡高等学園には、十一月の練習試合で一度負けていました。そこで、１試合目とはポジションを変え、守備的な布陣で試合に臨みました。相手に攻められる場面が多かったですが、守備陣が耐え、攻撃陣がカウンターで得点を狙いました。相手の守備の裏のスペースを狙って攻めた結果、攻撃陣は３得点を挙げ、守備もしっかり０点に抑えてくれました。今回３連覇＆３大会連続無失点という輝かしい成績を残す事ができたのも、「点を取るべき人が取り、守備は最後まで諦めずに相手に食らいつく」というそれぞれの役割を果たした結果だと思います。チームの中心となった高校生、また成長著しい中学生の選手が来年も活躍し、良い結果が残せるのではないかと期待しています。当日は応援の為、たくさんの方々に会場まで足を運んで頂き、ありがとうございました。（肘井）

戦術ピタリ 「ボールポゼッション」からの『カウンター攻撃!!』

【大会トーナメント】



【ロッカールーム】

今年は、練習予定表をもとに練習をしてきました。練習の内容としては、体力面（走り込み等）の向上とスキル（ドリブル・フェイント）の向上に重点を置き取り組みました。練習を積み重ねるにつれて、練習がきつくて挫折しそうな時は、チームメイトが励ますような姿が見られるようになってきました。試合当日は、緊張感もあり立ち上がりは不安でしたが時間が経つにつれてプレーに余裕が出ていました。子ども達は、サッカーを通して、サッカーの楽しさだけではなく、沢山の人に応援してもらっている事に気付いてくれたと思います。

（番記者：永田）

受け継がれる伝統と踊り

若久緑園エイサー隊

出演依頼殺到中！

≪ エイサー隊のはじまり ≫

共栄福祉会が沖縄にゆかりがあり、姉妹園（若竹保育園・板屋学園）が行事ごとに披露していた。
若久緑園でも姉妹施設に負けないような「エイサー」を披露しようと職員で始めたのがきっかけ。
職員がカッコよく踊る姿に、子ども達も魅かれていき、「僕も踊りたい」「私も踊りたい」と声が上がる。
その子ども達のやる気を受け止め「大人エイサー」「子どもエイサー」に分かれた。
『大人エイサーは凛々しくカッコ良く』
『子どもエイサーは可愛く楽しく』を
モットーに伝統を受け継ぎ、練習を重ねてきた。今では出演依頼が殺到し、子ども達は出演ごとに上達し、自信へと繋がっている。

～ 今年度の出演イベント紹介 ～

5月	TOYOTAイベント（博多区榎田）
6月	ライオンズクラブ世界大会（天神中央公園）
7月	若久2丁目地区『夏祭り』
8月	福岡コロニー『夏祭り』
9月	東若久小学校イベント（東若久小学校）
11月	全国生産活動・就労支援部研修会イベント（天神中央公園）
1月	ライオンズクラブ例会（ホテルニューオータニ）
1月	ふくふくフェスティバル（ふくふくプラザ）

出演依頼は、随時受付中!!

CHRISTMAS FES2016

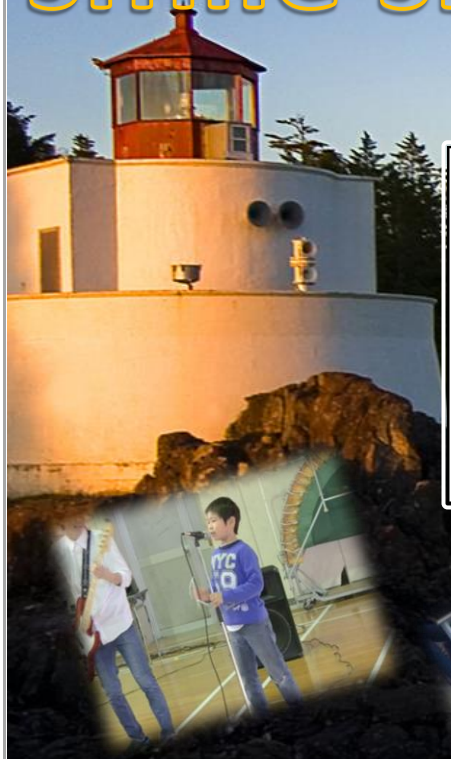
WAKAHISA MIDORIEN

今年も行われた若久緑園のクリスマス会。今年は昨年以上に、音楽・劇・ゲーム大会など、充実したクリスマス会となりました。来年度も子どもたちが心から楽しめるクリスマス会にしていければと思います！！

smile smile

smile

今年度は、メンバーの脱退が相次ぎ、音楽活動の存続にまで影響する出来事が数多くありました。しかし、そんな中でも「音楽をしたい！」と、強く希望する子どもたちがいました。職員と子どもたちが一致団結し、今も音楽と向き合う日々を送っています。来年度からは今以上に活動に力を入れ、皆さんに「笑顔」を届けられるバンドを目指していきたいと思います。今後とも応援の程、よろしくお願い致します。



社会的養護に関わる方たちとの合同研修会

発達障がいのある児童の支援について
～集団生活の中での課題～
講師：西南学院大学教授　安部計彦　氏

今回の研修会を通して、多くの学びが出来ました。まず、「生育歴等の情報を整理し、課題を抽出する。そして本人の強みから具体的な支援方法を考える。」と言った支援計画の大切さを再確認する事ができました。また、自閉症スペクトラムの児童においての専門的な視点での支援方法も教えて頂き、大変勉強になりました。早速現場へフィードバックし、共有して支援に取り組みます。又、児童養護施設の職員等、外部からの参加者等も多くあり、共通の悩みや課題が共有できました。

園内研修会

10月　園内研修会
「事例検討会（個別支援計画を作成する）」
講師：ふぉるつぁ　竹石　綾子　氏

10月の園内研修は、若久緑園の入所児童の事例を基に、グループ毎で個別支援計画を作成しました。講師の竹石氏からは、個々の事例アセスメントから、対象児童の特性を丁寧に教えて頂き、根拠に基づいた支援計画を作成する機会となりました。

今回の計画作成を今後も活かしていきたいと思います。

恵方巻きボランティア　「鮨なにわ」様

今年も、２月５日（日）に「鮨なにわ」さんからボランティアに来ていただきました。

しかし、残念ながらインフルエンザが寮で流行していた為、急遽人数分の恵方巻きを、なにわさんに作って頂きました。

作って頂いた恵方巻きは、それぞれの寮で北北西を向き、美味しく頂きました。

インフルエンザが流行っている最中でも快く来園していただいた、「鮨なにわ」様、本当にありがとうございました。

寄付・寄贈

★兵庫興農（株）　様　から　ジャム　　★大谷　和彦　　様　から　タオル　と　図書カード
★波多江 浩一　様　から　スリッパ
を寄付、寄贈して頂きました。ありがとうございました。

Thank you!

苦情受付委員会からお知らせ

今回は苦情等の受け付けはございませんでした。
苦情相談等がございましたら、お気軽に苦情受付担当者にお申し出頂くか、事務所前に備え付けている「ご意見箱」にお入れください。

若久緑園に関する質問・意見・疑問などがございましたら、下記の苦情受付委員までお申し出ください。誠意をもってご返答致します。

【苦情受付担当者】 上原桂一郎（支援部部長）
鬼塚康宏（支援部係長）
【苦情解決責任者】 中村隆　（　園　長　）

【第三者委員】
武末　政利（前桜ヶ丘自治会長）
住所：春日市桜ケ丘8丁目72番地
電話：092－582－3802

諏訪多　孝一（新開学園園長）

事務所で直接話づらい、話し合っても解決できない時は
こちらでもご相談をお受けしています。
（匿名でのご相談も可能です）

福岡県運営適正化委員会事務局（社会福祉法人　福岡県社会福祉協議会）住所：春日市原町3丁目1番7　クローバープラザ4階（東棟）
電話：092－915－3511

特定相談支援事業

みどり

地域にお住まいの、知的障がいや発達障がいのある方およびご家族の相談内容をお聞きし、適切な福祉サービス利用に向けて一緒に考えていきます。また、サービス等利用計画を作成し、サービス利用後も一定期間ごとに『利用しているサービスと、ご本人の求める事』について確認をいたします。

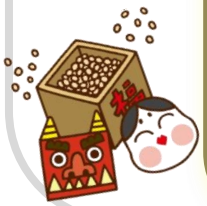
緑園内、短期入所や放課後等デイサービスなどともリンクしています。
また、サービス区域が福岡市(東区、西区は除く)、春日市、大野城市、筑紫野市、那珂川町に拡大しました。

お問い合わせはこちらまで
092－551－3130
（担当：宮崎）

放課後等デイサービス「ガーデン」

２月は節分！ガーデンでも職員扮する鬼を退治して大盛り上がりでした！

おやつも節分やバレンタインにちなんでクッキング！上手に可愛く出来ました♪



↑ビスケットにデコレーション

↑実は蒸しパン

ガーデン
Garden
〒815-0042　福岡市南区若久2-3-51
TEL 092-551-3156　FAX 092-551-3140

お知らせ

GREEN PEACE

今回のGREEN PEACEは青葉寮 I君、S君の原案でした！ありがとう☆

GP グリーンピース　次号は！

特集

次号は4月発行予定
新年度のご挨拶　他

園内の行事やこどもたちの様子など随時更新中